

東海圧送LLP

縦配管禁止を確認

技術講習 テストで知識確認



長谷川理事長

東海地区コンクリート圧送有限責任事業組合(東海圧送LLP、長谷川員典理事長)は12日、名古屋国際会議場で安全大会と全国統

一安全・技術講習会を開いた。安全大会には昨年に続き、大手ゼネコンの名古屋支店の安全衛生担当者が出席したほか、建設産業専門団体連合会の才賀清二郎会長が臨席した。長谷川理事長は開会あいさつで、今年6月に東海地区のゼネコンを対象にコンクリート



打設の講習会を開くことに触れ、「我々がコンクリートのリーダーシップをとり、皆さんを現場で戸惑わせるようなことがないように知識、安全衛生法の教

育を行っている」と安全大会や講習会の意義を説明した。安全大会では今年度の安全衛生基本方針が発表され、安全スローガンは「高めよう安全意識と自己管理KY活動の実践で災害防止」とした。重点実施事項として、特定自主検査と日常点検を確実に実施するほか、安全衛生および技術に関する教育講習会の開催で災害・事故をゼロとすること

を確認した。また、構造上認められていないブーム先端からの縦配管の禁止を確認した。統一安全・技術講習会は足場の組み立てに関する特別教育を行ったほか、日本大学の中田善久教授が生コンクリートの基本から圧送計画の基本事項について解説した。また、中田教授の講演では講義内容を元にした簡単なテストも行って、知識を確認した。